

12 つくる責任
つかう責任



使用済み金山焼のリサイクル



SDGsには17の大きな目標がありますが、目標12は「つくる責任 つかう責任」です。

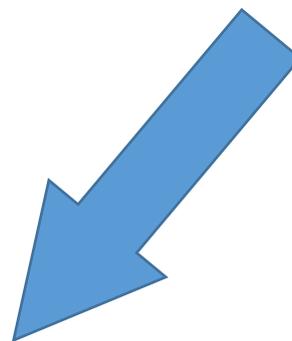
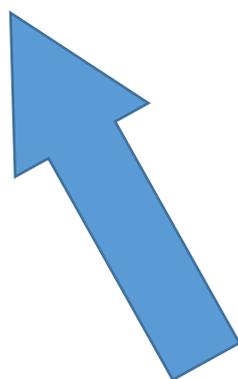
地球のエネルギーや資源には限りがあり、最終的には資源が枯渇してしまうかもしれません。この状況を改善するために考えられたのが目標12の「つくる責任 つかう責任」です。

この目標ポイントは次の通りです。

- ・天然資源を効率よく使う
- ・食品ロスを減らす
- ・ゴミの量を減らす
- ・持続可能な取り組みを意識して促進する

これをふまえて津軽金山焼では、陶器をゴミとせず粉砕して材料としてリサイクルする事に取り組んでいます

使用済みや破損によりゴミとして捨てられる物の中で、再利用できるものはできるだけ活用する必要があります。ご家庭にある金山焼で、割れてしまったり欠けてしまった器や、もう使わない器を回収し、それを砕いて原料にし、再利用することといたしました。



ゴミを減らし、新たに長く愛される器に生まれ変わる「循環型生産」を取り入れることは、最後まで責任を持った持続可能な器作りと考えています。